

洪水からの避難 判断チャート

① 居住地の危険性を確認

洪水・高潮ハザードマップで
浸水深をチェック
ハザードマップポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>



建物の高さをチェック

平屋

浸水深

5m～
2階の屋根以上が浸水

3～5m
1階天井～2階部分まで浸水

0.5～3m
床上浸水～1階天井まで浸水

~0.5m
床下浸水

2階建以上

浸水深

5m～
2階の屋根以上が浸水

3～5m
1階天井～2階部分まで浸水

0.5～3m
床上浸水～1階天井まで浸水

~0.5m
床下浸水

② 避難判断の基準と する情報を確認

キキクル (気象庁)
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#lat:35.283182/lon:133.816223/zoom:10/colordepth:deep/elements:inund>



気象警報等
鳥取県の防災情報 (気象庁)
https://www.jma.go.jp/bosai/#pattern=default&area_type=office&area_code=310000



河川水位
河川監視カメラ提供システム
<http://kasenkanshi-data.users.tori-info.co.jp/>



危険度 高

警戒レベル3			警戒レベル4			警戒レベル5		
避難行動をとる目安となる情報								
避難情報 高齢者等避難	キキクル 警戒	気象警報 大雨警報 洪水警報	避難情報 避難指示	キキクル 危険 氾濫危険	気象警報 高潮警報 高潮特別警報	避難情報 緊急安全確保	キキクル 災害切迫 氾濫発生	気象警報 大雨特別警報 ※周囲の現況に応じて判断 災害発生
河川水位: 氾濫注意水位 (氾濫注意情報) 避難判断水位 (氾濫警戒情報)			河川水位: 避難判断水位 (氾濫警戒情報) 氾濫危険水位 (氾濫危険情報)			河川水位: 氾濫発生 (氾濫発生情報)		

避難に時間がかかる場合
(高齢者、傷病者、障がいのある方がいる等)
※避難所が遠い、川べりで避難の時間がないときを含む

早めの避難
災害が起きる前に安全なところへ移動するため、早めに危険な個所から立ち退き避難

上記以外

周辺の確認・情報の収集
✓ 気象情報や周囲の状況が確認できるような情報収集体制を整え、避難に備える

屋内待機 むやみな外出は控える
✓ 急激な状況悪化に備え、立ち退き避難も検討
✓ 長期の浸水で電気・水道・トイレ等使えなくなる可能性あり、水・食料・簡易トイレ等備蓄が必要

避難に時間がかかる人がいる
(高齢の方、傷病者、障がいのある方など)

早めの避難
災害が起きる前に安全なところへ移動するため、早めに危険な個所から立ち退き避難

周辺の確認・情報の収集
気象情報や周囲の状況が確認できるような情報収集体制を整え、避難に備える

屋内待機 むやみな外出は控える
✓ 長期浸水で外出できない、電気・水道・トイレ等使えなくなる可能性あり、水・食料・簡易トイレ等備蓄が必要、できれば立ち退き避難も検討

立ち退き避難
周囲の状況が悪化する前に、避難所・知人の家・宿泊施設など、安全な場所に避難
早めの避難を心がけてください

水位 洪水警報・注意報 避難情報 とるべき行動

避難発生 避難発生情報 緊急安全確保 すでに災害が発生している場合は避難所へ速やかに避難してください。高層階の避難など、高層階を避難所としてください。

氾濫危険水位 避難発生情報 避難発生情報 避難発生情報 避難発生情報 避難発生情報 避難発生情報 避難発生情報 避難発生情報

避難判断水位 避難指示 避難指示 避難指示 避難指示 避難指示 避難指示 避難指示 避難指示

氾濫注意水位 氾濫注意情報 高齢者等避難 高齢者等避難 高齢者等避難 高齢者等避難 高齢者等避難 高齢者等避難

通常水位

浸水想定~0.5m(床下浸水)

できれば立ち退き避難を検討

立ち退き避難
✓ 周囲の状況が悪化する前に、避難所・知人の家・宿泊施設など、安全な場所に避難
✓ マンション等、浸水想定深以上の高層階であっても、長期浸水で外出できない、電気・水道・トイレ等使えなくなる可能性あり、水・食料・簡易トイレ等備蓄が必要、できれば立ち退き避難も検討

立ち退き避難又は垂直避難
最低限上階へ垂直避難
✓ 長期浸水で外出できない、電気・水道・トイレ等使えなくなる可能性あり、水・食料・簡易トイレ等備蓄が必要
✓ できれば立ち退き避難も検討

**■ 命の危険
直ちに安全確保**

すでに災害等が発生し、安全に避難できない可能性あり
可能な限り安全な場所へ直ちに移動

- ✓ すでに周囲が浸水しているなど、移動が危険でない場合は、屋上などへ垂直避難 (流された場合の備えを)
- ✓ 周囲の危険性がないときは近くの高い建物などへ移動
- ✓ 居住地の危険性が低い場合であっても、災害発生箇所から近い場合等は、万が一に備え、上階・げから離れた部屋など安全な場所に屋内移動

③ 取るべき避難行動を確認